

CO・OP

京都の生協

2008/August/No. 66
京都府生活協同組合連合会



いつまでも森の恵みとともに暮らしつづけるために——
みんなで森を守り育てる運動を！ もっと国産材の活用を！

Talk Talk トークとーく

●京都府森林組合連合会 代表理事専務

あおあい みき お
青合 幹夫さん

●京都府生活協同組合連合会 会長理事

こばやし ともこ
小林 智子

対談

TalkTalk

トークとーく



いつまでも森の恵みとともに暮らしてつづけるために――

みんなが森を守り育てる運動を！ もっと国産材の活用を！

京都府森林組合連合会 代表理事 専務

京都府生活協同組合連合会 会長 理事

青合 幹夫さん

小林 智子

このごろ、大雨が降ると、すぐ浸水騒ぎになります。もちろん、これにはいろいろな原因があるのですが、ひとつは山の保水力の低下が考えられるでしょう。かつて人びとは、建築用材のほかに、たきぎや木の芽やキノコ、けものや魚など、森の恵みを受けながら暮らしていました。そうやって山に入ることが森の健やかさを保つことにもなっ

ていたのですが、しだいに鉄やコンクリート、石油燃料に囲まれた生活に変わり、山は手入れされないうまま放置されるようになりました。荒れた山を、もとの健康な森にもどし、次の世代に引き継ごうと奮闘しているのが森林所有者の協同組合、つまり森林組合です。

(対談は緑ゆたかな雲ヶ畑の「森林の茶房」にて)

木質資源の提供、環境保全、防災、景観

多面的な機能をもつ森林

小林 きょうは少し雨の気配があつて、緑もいっそうしっとりしていますね。川のせせらぎや鳥のさえずりを聴きながら、思わず深呼吸してしまいました(笑)。

小林 森林というと、最近環境問題の観点から注目が集まっています。

青合 こんなところに身を置くと、心が洗われるようですね。街中からわずかな時間でこれほどゆたかな自然にたどり着けるのは、京都のまちのすばらしい財産だと思います。

青合 そうなんです。木材・木質資源を生み出すだけでなく、地球温暖化の原因のひとつの二酸化炭素を吸収したり空気を浄化するという役割もはたしています。

でも、防災機能という点でも、森は大事なんですよ。木や下草など、ゆたかな植生がある森は、そ

れらの根っこが土を押さえてくれるので、雨が降っても表土の流失を防ぐことができます。ところが、見た目には木が生えている山でも、そうした多様な植生がないと、大量の雨にもちこたえられず、土砂崩れを起こしたり、表土が河川に流れ込んで河床を押し上げ、洪水を起こしたりします。

でも、防災機能という点でも、森は大事なんですよ。木や下草など、ゆたかな植生がある森は、そ

れらの根っこが土を押さえてくれるので、雨が降っても表土の流失を防ぐことができます。ところが、見た目には木が生えている山でも、そうした多様な植生がないと、大量の雨にもちこたえられず、土砂崩れを起こしたり、表土が河川に流れ込んで河床を押し上げ、洪水を起こしたりします。

小林 漁業協同組合のみなさんも、ゆたかな森が魚を育むというので、森を守る活動をなさっています。林業は、消費者にとつて、農業ほどには身近に感じることが

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

いつまでも森の恵みとともに暮らしてつづけるために
みんなが森を守り育てる運動を！ もっと国産材の活用を！……2

コープみんながエコ！ 2008 京都……7

京都府生協連第55回通常総会開催……8

国際協同組合デー 第19回 京都集會開催……10

6月21日、都大路を230人がピースパレード……12

「きょうと食育ネットワーク」通常総会開催……14

日本生協連・冷凍ギョーザ問題検証委員会が最終報告/
山下俊史・日本生協連会長が所信……14

TOPICS

●特定非営利活動法人

「消費者支援機構関西(KC's)」通常総会……15

●京都消費者契約ネットワークが

消費者団体訴訟第1号を提起……15

●「消費者庁」設置の動きハイピッチで……15

●第21回役員研修会 食料・資源問題を学習……15

おもな行事のお知らせ……16

探訪「京都市洛西竹林公園」……16



京都の森の98%は個人所有

少ないけれども、じつは私たちの暮らしに深くかかわっているんですね。
青合 そうですね。漁業ともかわりますし、大切な水源ですから。

ら、農業ともかわります。また、深呼吸の話をなさっていたように、うつくしい景観やきれいな空気は心身の健康に良い影響を与えてくれますし、多様な動植物をはぐく

む場所でもあります。
日本は、森林が国土面積の3分の2を占める国ですから、その恵みもたくさん受けていると思います。

小林 京都の森はどんな状態ですか。
青合 京都府の総面積に占める森林の割合は約74%で、全国平均の65%よりも多く、しかも、その98%は個人が所有する「民有林」なんです。

理をおこなうための組織です。ひとくちに森林といいますが、人の手がまったく入らない原生的な林もあれば、人がかわるけれどもできるだけ自然のままにしておく天然林や、材木を生産するために人が植栽した人工林もあります。このうち、とくに人の手入れを必要とする人工林の管理や整備を協同でおこなうのが森林組合です。

その子が育てて、孫が切り出して売る、というふうになんとなく3代をかけたという成り立ちなのですが、それもそれなりの材価がつくことが前提です。ところが、材価は、私が就職した1968（昭和43）年の時点よりも現在のほうが低いんですね。たしか初任給は2万6000円でした。いま新卒の初任給は約17万円くらいです。なのに材価は、逆に下がっている。材価は低くても、材木の生産費はかかりますから、とても採算は取れないわけです。

小林 京都の山のほとんどは個人、いわゆる「山持ち」の方が所有なさっているんですね。
青合 そういうことになります。全国的には国有林が約30%ですから、その点、京都の森林は他の県と少し違っています。

農協と同じように、森林作業に必要な物資の斡旋・販売などもしています。
小林 所有者一人あたり、どれぐらいの面積の山をもつてらっしゃるのですか。
青合 所有者の約8割は5ヘクタール以下という零細な規模です。林業経営は、おじいさんが植えて、

それと京都府の場合は、もともと零細な所有形態ですから、農業と林業を兼業して、むしろ農業の合間に林業をする人が多かったです。それでも、農業収入にある程度の余裕があった時代は、その分を林業に回されたのですが、このごろは農業もきびしいですから、山の管理まで手が回らない所有者がふえています。

小林 そういう森林所有者が集まってつくられたのが森林組合ですか。
青合 森林組合は、森林所有者である組合員が協同して森林の管

理をおこなうための組織です。ひとくちに森林といいますが、人の手がまったく入らない原生的な林もあれば、人がかわるけれどもできるだけ自然のままにしておく天然林や、材木を生産するために人が植栽した人工林もあります。このうち、とくに人の手入れを必要とする人工林の管理や整備を協同でおこなうのが森林組合です。

日本は総じて地形が急峻ですから、搬出コストがすごくかかるところですね。ところが、日本に合板の原木を輸出している東南アジアな

なぜ、山の管理が行き届かなくなったのか？

小林 材木の値段が下がったのは、やはり外材との価格競争ですか。

青合 日本は総じて地形が急峻ですから、搬出コストがすごくかかるところですね。ところが、日本に合板の原木を輸出している東南アジアな



雲ヶ畑林業総合センター・森林の茶房

金・土・日・祝日のみ営業（10時～16時ごろ）
※季節によって異なります。

京都市北区雲ヶ畑中津川町320

連絡先/Tel.&Fax.075-406-2215

どは、平地林が多くて、木を運び出す道も簡単につくれます。

日本は、戦後の復興期に大量の建築用材が必要になって、外国産の木丸太の輸入関税をゼロにするという政策をとりました。東南アジアなどは、いまお話ししたように、そもそも木材の生産コストが安くつく地形条件ですし、関税もかからないので、価格競争になると国産材は太刀打ちできません。それで大量の外材が安く入るようになり、国産材がだんだん使われなくなつて、価格も下

がつてしまいました。そのため山に目が向けられなくなつて、管理が行き届かなくなつたんです。

小林 山の管理というのは、下草刈りとか枝打ちとか？

青合 そうですね。今とくには、切なのは間伐です。木というのは、おもしろい植物で、同じ面積に何本植えても、育つ木の体積の合計はほぼ同じなんです。つまり、本数が多すぎると、その分、一本あたりの体積は小さくなり、細い木になります。

小林 最初からまばらに植えておけば、間伐の手間が省ける…というわけにはいかないのでしょうか。

青合 そうすると、根元のほうばかり太つてしまふし、きれいな年輪ができません。一本の木そのものの太さをそろえたり、美しい年輪をつくるためには、やはり最初はある程度の密度で植えて、徐々に間伐して、まんべんなく日に当てる必要があるんです。その意味では、間伐材は、木を育てる過程で必ず出てくるものです。

植えて、育てて、切つて、売る 国産材の循環システムづくり

小林 私の家は、じつは美山の杉で建てたんです。暮らし始めたころは、ピシッピシッと木が鳴つていましたし、最近では色に変化してきました。「ああ、木って生きてるんや」と実感しますね(笑)。

青合 そうなんです。木は、切つた後も水分を吐いたり吸つたりして常に動いている。ところが、それが狂いの原因になるので、あとあとクレームがつくと困りますから、そんな材を使いたがらない大工さんもあるんですね。

小林 お世話になつた大工さんによると、最近ではあらかじめ工場で切つてセットされた木を、現場で組

み合わせるだけという工事がほとんどだそうです。でも、「木の顔色を見て、木のクセを考えながらやる仕事は、やっぱり職人としてのハートが燃える。むずかしいけど、おもしろい」とおっしゃっていました。

青合 そうでしょうね。そういう仕事ができる大工さんを育てる必要がある。ところが、おっしゃる通りに、いまはコスト優先の大量生産方式ですから、国産材を使いこなせる大工さんも減っている。いろいろな意味で悪循環が起つてますね。

小林 主伐材も間伐材も、それなりの価格で売買され、きちんと活用

用できるような用途開発や人材育成ができれば、国内の林業も成り立つと考えていいのでしょうか。

青合 その循環システムがつくれるかどうか、それがポイントだと思います。建築用材に国産材を積極的に使つてもらつると同時に、間伐材の用途開発にも取り組み、産業として成り立つようにしないと、後継者も育ちませんから。





「利用間伐」が循環のカギを にぎっている

小林 先ほど、間伐材は木材を生産する過程で必然的にできるものだとおっしゃいましたが、用途としてはどんなものがあるでしょうか。

青合 間伐材の用途としてもっとも多いのは、集成材ですね。間伐材などを一定の厚さで切って、接着剤でくっつけたものですが、いろいろな木が集まっている分、一枚ものの無垢板と違って、それぞれのクセが消えて、狂いの少ない、しつかりしたものになります。また、合板にも多く使われています。

小林 いま穀物を燃料に回して問題になっていますが、木材からエタノールを作ることではできないのでしょうか。それができれば、木の循環にもなるし、燃料も確保できて、一石二鳥だと思えますが。

青合 バイオエタノールの原料としてトウモロコシが大量に使われたこと、一方ではアフリカを中心とする食糧危機の問題が物議をかもしっていますが、バイオエタノール

の原料はやはり非食料系の材料でまかなうべきだと思いますね。そこで、

国段階でも木質系バイオマスからエタノールを生産する技術研究がすすめられています。民間ではすでに建築廃材などで生産をおこなっている企業もあると聞いていますが、木質系資源のすべてを有効活用するという意味で、今後の研究成果や本格的な企業化が待たれています。

小林 早く実現するといいたすね。それに、ここにも素敵なストロブがあります。ストロブは今ちよっとしたブームになっていますね。

青合 ペレットストーブや薪ストーブは、とても人気がありますが、薪ストーブは煙が出るので市街地では使えないのはむずかしいですね。ペレットストーブは大いに期待しています。

小林 間伐材を利用して新しい商品の開発はすすめられてるんですか？

青合 いま、われわれが開発しているのはエアコンの室外機のカ

バーです。京町家の屋根に無機質な室外機が乗っていると、せっかくの景観が台なしですよ。それで、木製の室外機カバーがつくれないうかという話になって、設計士の人たちと検討し、そろそろ売り出す段階にきています。いま京都市内の明倫学区の町家で実験的に30基ほど並べていますが、周囲の町並みになじむように、ベ

んがら格子のデザインにしました。
小林 なるほど。それは京都の景観ともマッチして、すてきですね。

青合 いずれにせよ、間伐をして、それを製品として利用し、それによって山を管理する…というふうな、くるくると循環させることが大切ですから、日吉町森林組合や京丹波町森林組合などは間伐を所有者まかせにせず集団で取り組んで、製品利用までのサイクルをつくりあげています。森林組合連合会としても、綾部に独自の加工センターを設けて、土木事業の材料に提供できるようなまっすぐな丸棒をつくるなど、いろいろと取り組んでいます。

「山の労働」の担い手を 育てるために

小林 もうひとつの課題は人材育成ですね。

青合 森林の循環をつくりだすためには、山を管理できる能力を維持する必要があります。そのためには「山の労働」の担い手が不可欠で、



ある意味では、この人たちがいちばん大事です。大工さんがいないと家が建たないのと同じです。ところが、山の仕事は3Kとか4Kといわれるほどきびしいし、実入りもそう多くない。そんなことでどんどん減っているのが現状です。

小林 最近、都会暮らしに疲れた人たちが農業や林業にあこがれて参入しているという話をききますが。

青合 たしかに、そういう人はふえています。ただし、なかなかきびしい仕事なので脱落する人も少なくありませんが、行政も人材確保には力を入れて、一定の生活費支給を備えた研修制度などを設けています。

また、間伐の生産性向上という観点から、高性能の林業機械の導入と、そのオペレーターの養成にも取り組んでいます。大型の林業機械は、この配のきつい地形では使えませんが、若い人や女性でも扱いはむずかしくないので、生産性だけでなく人材確保という意味でもメリットがあります。

みんなですめる京都の森づくり

小林 最近、モデルフォレストや森林ボランティアの話もよく聞くようになりました。市民の関心も高まっているようですね。

のは、企業活動はモノや自然を収奪しがちなので、そのぶん、環境を守る意識が要求されるわけです。

青合 ここ雲ヶ畑は、京都の大学生たちがつくった森林ボランティア「山仕事サークル 杉良太郎（すぎよしたろう）」がフィールドにしていた地域で、その卒業生が森林関係のNPOを立ち上げたりして、市民的関心も少しずつひろがってきました。

幸い、社団法人・京都モデルフォレスト協会には、生協・農協・漁協といった協同組合とともに、多くの企業も参加してくださっています。トップから従業員にいたるまで企業全体で、下草刈りなどの体験活動に参加していただいて、「森を守ろう」「木製品を使おう」という意識が出てきたら、社会全体の意識も大きく変わるだろうと期待しています。

関係のシンポジウムなども宣伝していただくと、もっと多くの消費者のみなさんに参加していただけるだろうと思いますので、その節はご協力をよろしくお願いします。しかし、なんといっても、暮らしのなかに木製品を取り入れていただくことがいちばんですね。

一方、モデルフォレストは森の恵みを受けている市民みんなで森を守り育てようという取り組みですが、この取り組みだけで山が守れるわけではないので、意識醸成という意味が大きいんですね。その点では、まさに「運動」ですので、企業がどれだけかかわるかが大事です。という

小林 京都府生協連としても、大学生協も含めていろいろな生協が参加していますので、機会あるごとに国産材をアピールしたいと考えています。

小林 木を含めた自然環境は、失ってからその大切さに気づいたのでは遅いけれど、いまなら、まだ間に合うのではないかと。だとしたら、私も森を守る活動に参加しつつ、京都の木に囲まれた暮らしを楽しみたいと思います。

青合 国産材のアピールはぜひお願いしたいですね。それと、森林

青合 私も毎週、生協の共同購入を利用してらるんですよ。これからもお互いに協同組合として力を合わせていきましょう。

小林 本日はどうもありがとうございます。ありがとうございました。

(写真撮影・有田知行)

青合幹夫さんのプロフィール

1968年3月京都府立大学農学部を卒業し、同年4月京都府に採用される。

農林水産部林務課長、技監、部長を経て2004年4月京都府を退職。

同年5月から京都府土地改良事業団体連合会常務理事、2007年6月京都府森林組合連合会代表理事専務に就任し現在に至る。

京都府在職中のほとんどを森林行政に携わる。



コープみんなでエコ!

2008 京都

日本の温室効果ガス削減にむけて、一人ひとりができることからはじめよう!

7月1日(火)、池坊短期大学「こころホール」において、「コープみんなでエコ!2008京都」が開催されました。主催は、京都生協・大学生協京滋奈良地域センター・京都府庁生協・京都府生協連の4者で、NPO法人コンシューマーズ京都が企画運営しました。京都府・京都市・京都府地球温暖化防止活動推進センター・エコロジーセンター・京のアジェンダ21フォーラム・京都生協虹の会の6団体から後援がありました。

京都生協の組合員・職員はじめ、大学生協、府庁生協、京都府生協連から170人が参加しました。

わかりやすくてももしろい環境落語

環境問題をわかりやすくおもしろく——笑福亭松枝さんの環境落語「長屋のエコロジーが地球を救う」は、そんな期待にこたえ、会場を笑いの渦に巻き込みながら、環境問題をさまざまな視点から取り上げ、大人から子どもまで実感できるお話をされました。「勿体ない」の語源、「日本の昔のくらし」はエコだった、サッカーボールにたとえた「大気圏」の話、牛豚鶏各1kgの肉を作るのに必要な穀物量などなど。「子どもたちにもぜひ聞かせたい」という感想がたくさん寄せられました。

知る「いつからはじめよう」

小林智子・京都生協理事長(京都府生協連会長理事)が開会あいさつをし、「日本の温室効果ガス削減にむけて、いまわたしたちに大切なのは、一人ひとりができることから取り組みをはじめること。そのためには、まずは知ることから。そして、つなげ、広げていきましょう」と呼びかけました。

浅岡美恵さんが「新しいルールづくり」を訴える

つづいて、NPO法人気候ネットワーク代表の浅岡美恵さん(弁護士)が、「くらしの中からSTO P温暖化」をテーマに講演されました。浅岡さんは、「エコブームになってずいぶんたつが、CO₂



浅岡美恵さん

はふえつつづけている。いま求められているのは、社会のしくみを変えること。そのためにはCO₂を確実に減らしていくための新しいルールが必要」として、「気候保護法」の提案をされました。参加者には「事実・実態を知る。買い物上手・使い上手になる。大量生産・大量消費・大量廃棄から脱却する。そして、これからの子どもたちのためにも国に声を届けよう」と呼びかけられました。

3人から環境活動報告

京都生協の吉村由喜子さんは、「家族みんなで一日エコライフ」に参加しましょう!」をテーマに報告。「一日エコライフ」はふだんの生活を見直すきっかけづくりが目的で、昨年10000人が参加。



京都生協の吉村由喜子さん

日本生協連の「コープ地球温暖化防止1000万人のくらしの見直しキャンペーン」の一環として、3万人の目標をかがけて取り組みをすすめていることが報告されました。



京大生協の嶋原佳奈子さん

京大生協の嶋原佳奈子さんは「京大生協の環境への取り組み」をテーマに、レジ袋削減や「リタナブル容器弁当」「リサイクル容器弁当」の取り組みについて報告。



京都府地球温暖化防止活動推進センターの木原浩貴さん

京都府地球温暖化防止活動推進センターの木原浩貴さんは、私たちの暮らしのなかで、省エネ型の家電製品を賢く選んで、賢く使うヒントをたくさん教えてくれました。

午後と夜の2回、映画「アース」の上映会がおこなわれ、あわせて60人が鑑賞しました。



笑福亭松枝さん



170人が参加者しました

京都府生協連 第55回通常総会開催

全議案を満場一致で可決、役員21人を選出



開会のあいさつをする
小林智子会長理事

6月10日(火)午後1時30分より、登録会館(中京区烏丸御池)で、「京都府生活協同組合連合会 第55回通常総会」を開催しました。今総会の代議員総数は41人で、当日の出席は本人出席36人、委任出席1人、書面出席4人でした。役員・来賓ほかあわせて、90人の参加となりました。

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいて来賓の園田能夫・京都府府民生活部部長(山田啓二・京都府知事代理)、木村幹雄・京都労働者福祉協議会会長から、ご祝辞をいただきました。あわせて京都府議会議長、京都市長、国会議員、各関係団体、各生協などからいただいた76通の祝電・メッセージをご紹介します。



木村幹雄・京都労働者福祉協議会 会長



園田能夫・京都府府民生活部部長(山田啓二・京都府知事代理)

提案された11の議案について、1〜10号の各議案は満場一致で可決しました。11号議案 役員選挙については、立候補者数が定数内であったため、役員選挙管理委員会より、定款と役員選挙規約にもとづき全員を無投票当選とすることが報告されました。今回、員外理事3人をふくむ18人の理事と3人の監事が選出されました。

さいごに、総会アピール「大きく変化する情勢について認識を深め、生活協同組合としてよりい



「まとめ」の報告をする
小峰専務理事

っそうの社会的責任をはたしました。」を拍手で確認しました。

13人が活発に発言

当日は、13人の代議員・理事・オブザーバーから、食の安全・くらしの安心、大学生協の活動、環境、平和の取り組み、医療生協の健全経営をめざす取り組みなどについて活発な発言がありました。これらの発言をふまえ、小峰専務理事は、「この1年の多様な活動について報告をいただいた。これらをしっかり受けとめ、みなさんがたといっしょに連合会の活動をすすめてまいりたい」とのまとめをおこないました。

祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた (敬称略・順不同)

自由民主党衆議院議員	いざわ京子	民主党参議院議員	福山哲郎	京都府社会福祉協議会会長	立石義雄
自由民主党衆議院議員	清水鴻一郎	民主党参議院議員	松井孝治	京都市社会福祉協議会会長	原健
自由民主党衆議院議員	中川泰宏	日本共産党衆議院議員	穀田恵二	京都商工会議所会頭	立石義雄
自由民主党衆議院議員	山本ともひろ	日本共産党参議院議員	井上さとし	J A京都中央会会長	中川泰宏
民主党衆議院議員	泉ケンタ	京都府議会議長	家元丈夫	京都府漁業協同組合連合会代表理事会長	佐々木新一郎
民主党衆議院議員	山井和則	京都市長	門川大作		

総会アピール

第55回通常総会アピールは、三宅智巳理事が提案し、全体で拍手確認しました。

大きく変化する情勢について認識を深め、生活協同組合としてよりいっそうの社会的責任をはたしましょう！

いま私たちのくらしが大きく変わろうとしています。

温暖化による異常気象や洪水・台風などが年々頻発するようになり、地球環境を守る課題は緊迫したものになっています。国際的な投機マネーによる原油・穀物などの価格高騰は、発展途上国の食料危機を発生させるとともに、わが国においても食料品・燃料などの必需品の値上げラッシュとして、消費者・農漁業者・中小自営業者のくらしと営業を直撃しています。

(略)

2008年度体制 7月10日現在 (敬称略)
*は新任

- 会長理事 小林 智子
(京都生協理事長)
- 副会長理事 中森 一朗*
(京大生協専務理事)
- 専務理事 小峰 耕二
(京都生協専務理事)
- 常任理事 今西 静生*
(京都府庁生協専務理事)
- 常任理事 沼澤 明夫
(大学生協京都事業連合専務理事)
- 理事 粟飯原 利弘
(龍谷大学生協専務理事)
- 理事 右近 裕子*
(員外)
- 理事 大塚 正文
(京都橋学園生協専務理事)
- 理事 小野 留美子
(乙訓医療生協専務理事)
- 理事 笠谷 敏子
(京都生協常任理事)
- 理事 金谷 薫
(全京都勤労者共済生協専務理事)
- 理事 酒井 克彦
(立命館生協専務理事・池坊学園生協専務理事)
- 理事 佐々木 郁子*
(生協生活クラブ京都エル・コープ理事長)
- 理事 高田 艶子
(員外)
- 理事 田中 弘
(京都医療生協専務理事)
- 理事 廣瀬 佳代
(員外)
- 理事 三宅 智巳
(同志社生協専務理事)
- 理事 行松 龍美*
(やましろ健康医療生協専務理事)
- 監事 末廣 恭雄*
(京都府医大・府大生協専務理事)
- 監事 羽賀 省二*
(京都教育大学生協専務理事)
- 監事 眞柄 征市*
(乙訓医療生協理事)
- (事務局)**
- 事務局長 坂本 茂子
事務局次長 牧野内 孝子
事務局担当 川端 浩
渉外・教育担当 原 浩



6月10日㈫、登録会館にて開催しました

発言者とテーマ

 府医大・府大生協の 三大ニュース		 京都大学生協同組合 水嶋周一 オフザーバー		 生活協同組合エル・コープ 山谷恵子 代議員		 京都橋学園生活協同組合 高松 農 オフザーバー	
 「後期高齢者医療制度」 廃止・撤廃の取り組み		 京都府庁生活協同組合 今西静生 代議員		 大学生協 京滋・奈良地域センター 佐藤真輔 オフザーバー		 コープ自然派京都の 活動	
 京都生活協同組合 渡辺明子 代議員		 京都府生活協同組合連合会 高田艶子 理事		 乙訓医療生協同組合 川瀬孝也 代議員		 立命館生協が行う アスリートサポート	
 京都医療生活協同組合 清水武彦 代議員		 逆風のなかで健全経営の 確保をめざす		 広報誌「青い空」の 発行		 大学生協の 平和の取り組み	

このようなか、昨年5月、制定以来59年ぶりに生協法が改正され、今年4月から施行されました。生協はこれにち、全国で2400万人の組合員が参加する日本最大の消費者組織として成長・発展しています。食の安全・安心の課題をはじめ、医療や社会保障、環境などの分野においても消費者の権利が十分に確保され、一人ひとりが平和で幸せな生活を築くことのできる社会の実現のために、生協がはたすべき役割と期待は大きなものがあります。改正生協法の理念をしっかりと受けとめ、適正な組織運営の確立とよりいっそうの社会的責任をはたしていくことがつよくもとめられています。

本日、京都府生活協同組合連合会は第55回総会を開催し、京都における生協への加入組合員数が66万9500人を数え、地域・学園・職域・医療・共済などの多くの分野で、旺盛な事業と活動をすすめていることを確認しました。変化する世界と日本の情勢について認識を深めながら、協同組合としての組織特性にふさわしい事業と活動を推進し、組合員のねがいにこたえていきたいと思います。そして、地域社会の一員として、さまざまな団体・個人と手をつなぎ、連帯の輪をひろげていきたいと思います。

2008年6月10日

京都府生活協同組合連合会

第19回 京都集会開催

「環境・資源課題と京都の農林水産業の未来 ～協同組合の役割を考える～」をテーマに



国際協同組合デー・第19回京都集会はキャンパスプラザ京都を会場に、開会あいさつをする
京都府生活協同組合連合会・小林智子会長理事

7月2日(水)、キャンパスプラザ京都を会場に、「2008年度国際協同組合デー・第19回京都集会」が開催され、JA・JF・森連・生協から130人が参加しました。これは、京都の協同組合運動の発展を願い、毎年開催されているもので、主催は京都府協同組合連絡協議会(構成/JA京都中央会・JF京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)。

ことしは、「環境・資源課題と京都の農林水産業の未来」協同組合の役割を考える」をテーマに、研究最前線からの3つの報告と、それぞれの協同組合から元気な若い担い手たちの活動報告がおこなわれました。



JA京都中央会・中川泰宏会長が
開会あいさつ

第19回京都集会は、京都府漁業協同組合連合会指導課濱中貴志氏の司会で開会、京都府生活協同組合連合会・小林智子会長理事より開会のあいさつがありました。

つづいて、京都府農林水産関係研究機関に勤務されている3人の研究者から「研究最前線からの報告」をいただきました。

報告は、「温暖化に対応したおいしい米づくり」「竹林における牛の放牧」「温暖化で京都の海と魚はどう変わったか」のテーマで、参加者から「それぞれの分野での熱心な研究を知る機会がもてよかった」「わかりやすく工夫された内容で興味深く聞くことができた」「農林水産すべてにおいて地球温暖化防止への取り組みが急務だと実感した」などの声がありました。

よせられました。

各連からは、「特産の富有柿の普及をめざして」「せんべいづくりに取り組んで」「利用間伐に取り組んで」「餃子事件から見えたわたしの役割」の内容で活動報告がありました。

参加者から、「仕事にたいして夢と情熱をもって、取り組んでおられることに感動しました。すばらしいことだと思っ」

「現場の若いみなさんの生の意見を実際に聞いたのはほんとうに意義深い。熱い思いが感じられました」「知恵を出し合い、工夫をこらしてがんばっておられる若い担い手の方がたの話はとても力強くよかったです」などの感想がよせられました。

さいごに、JA京都中央会・中川泰宏会長より閉会のあいさつがありました。

研究最前線からの報告

温暖化に対応した
おいしい米づくり

京都府丹後農業研究所主任研究員

大橋 善之氏



丹後はコシヒカリの主産地で、全国食味ランキングでは2007年に西日本で唯一、最高級評価の特Aを獲得した。しかし、近年はお米に変化が出てきている。「白未熟粒」というデンブン集積が不良なお米の割合がふえ、正常なお米がとれにくくなってきている。そこで、地球温暖化による今日の気象の変化が「白未熟粒」の発生に大きくかかわっていることをデータからしめし、田植え時期を遅らせ、米が実る時期の高温を避け、苗を植える間隔を広げた結果、「白未熟粒」の発生がおさえられた。

竹林における
ウシの放牧

京都府林業試験場主任研究員

境 米造氏



放置竹林や荒廃農地が拡大し、野生動物が里に出没するようになってきた。そこで、牛の放牧により獣害の軽減ができること（農業）、放牧牛はタケノコを食べること（畜産）、竹は3年間伐りつづけると発生しなくなる（林業）から、共同研究として京都府綾部市に試験地を設定し、牛を放牧したところ、牛がよるこんでタケノコを食べ、明らかに竹の発生がおさえられた。ひきつづきタケノコの発生量や竹現存量の推移を比較することで、牛放牧による竹林の拡大防止効果の検証をしていきたい。

温暖化で京都の海と魚
はどう変わったか

京都府立海洋センター海洋調査部主任研究員

上野 陽一郎氏



最近、京都府で漁獲される魚に変化が起こっている。寒ブリが獲れなくなり、南方系のいわゆる熱帯の魚があらわれてきている。テレビのニュースでも報道されているエチゼンクラゲやハリセンボンなどの厄介者の出現も常態化している。これらは地球温暖化によって海が高温化したことによるものであると考えられる。対策として、海藻が二酸化炭素を吸収・固定することから、藻場造成の技術開発や、海藻の種苗生産、食用海藻の養殖など、「海の森づくり」に取り組んでいる。

各連からの活動報告

J A、J F、森林組合、生協より
活動報告がされました。

特産の富有柿の
普及をめざして

J A 京都市青壮年部大枝支部

松木 孝史さん



利用間伐に
取り組んで

京都市森林組合営業企画係長

西田 顕識さん



せんべいづくりに
取り組んで

間人底曳網漁業女性の会

佐々木 直美さん
吉田 温子さん



餃子事件から
見えたわたしの
役割

京都生活協同組合洛南支部

西 樹さん



「想像してごらん青い地球を」をテーマに
 楽しく、元気に、平和をアピールしました！

6月21日、京都府生協連のよびかけで 都大路を230人がピースパレード



ピースパレードの先頭
 左より、小林会長理事、濱崎実行委員長、京都生協・山本専務理事



学生たちが途中から先頭を行進しました

6月21日（土）午後1時すぎから、円山公園ラジオ塔前につきつぎとピースパレードの参加者が集まってきました。午後2時半から始まった出発式では、ピースパレード実行委員長・濱崎和栄さんがあいさつ、元京都府生協連副会長理事・横関武さんと前京都府生協連会長理事・吉田智道さんが紹介されると、会場は歓迎の拍手につつまれました。

つづいて、鳥取県生協連・西尾勝実専務理事はじめ、鳥取の生協からの参加者が紹介され、京滋・奈良地域センター学生事務局・坪内邦男さん、京都医療生協・田中弘専務理事、府庁生協・今西静生専務理事、平和友の会・竹林寿美子さん、コンシューマーズ京都・原強理事、京都府生協連・小峰耕二専務理事、京都生協の各ブロックの代表がひとことアピールし、バンド演奏が雰囲気をつぎつぎと盛り上げました。乙訓医療生協・小野留美子専務理事も参加しました。とくに今年は大学生協からの参加が11人あり、若い学生たちのパワーが会場にあふれました。

3時15分、いよいよ出発。京都府生協連・小林会長理事、濱崎実行委員長、京都生協・山本専務理事がもつ「ピースパレード京都」の横断幕を先頭に、230人の長い列がつぎつぎと道行く人にはピースメッセージ付きのティッシュペーパーやうちわを配り、子どもたちには風船を渡し、みんなですばやく「大きなうた」「野に咲く花のよ

各地でピースアクションが
 取り組まれました！

6/24(火)

● 6/24(火)
 向日市役所・長岡京市役所・大山崎町役場・八幡市役所
 乙訓医療生協からは23人が参加。例年どおり昼食交流会がおこなわれました。京都生協乙訓行政区の組合員・職員は昨年より倍近くふえて28人が参加しました。八幡市では生協組合員を含めて60人が、コープ男山店の前から八幡市役所まで平和行進しました。



平和行進する京都生協乙訓行政区のみなさん



おそろいのTシャツと横断幕、被り物などで平和を訴えた京都生協八幡行政区のみなさん

6/25(水)

● 6/25(水)
 宇治市役所・城陽市役所
 京田辺市役所

やましろ健康医療生協では、年間を通して取り組んできた折鶴をレイにして通し行進者にプレゼントしました。京都生協の南ブロックエリア（宇治・宇治田原・城陽・久御山・井手、京田辺の各行政区）の組合員・職員は、休憩時にお茶を出して行

出発式



大学生協の学生のみなさん



京都府庁生協・
今西静生専務理事



京都医療生協・
田中弘専務理事



ピースパレード
実行委員長・
濱崎和栄さん

うに」「世界に一つだけの花」
「青い空は」などの歌を歌い、ピ
ースアピールをおこないながら、
四条通〜河原町通〜京都市役所
までの都大路を元気にパレード
しました。
今年「想像してごらん青い
地球を」をテーマに、アースカ
ラー（月から見た地球の色）を
統一カラーに取り組みました。
京都生協27行政区委員会と理事
会あわせて28枚のピースメッセ
ージをパッチワークして作った

ピースパレード



楽しく平和をアピールしました



パレードの列が揃いました



「想像してごらん青い地球を」の横断幕が
ひときわ目を引きました

アースカラーの「想像してごら
ん青い地球を」の横断幕。ア
ースカラーのおそろいのTシャツ
に身をつんだグループ。持ち
物の色もアースカラーにこだわ
った人。平和に寄せる思いが
ひとつになったパレードでした。
沿道からも一緒に歌をうたつた
り、手を振ったりして、声援が
送られました。
原水爆禁止国民平和大行進と
連帯して取り組まれるのは今年
で26年となりました。

参加者の声

- 「はじめての参加でしたが、歌をうたっ
て行進しているうちにあっという間に終
わってしまいました。もっと歩きたかった。
とても楽しかった」
- 「四条通から河原町通と、京都のメイ
ンストリートを歩くのはとても気持ちよか
った」
- 「沿道の人も好意的な人が多く、一緒に
歌をうたってくれたり、手を振ってくれ
る人もたくさんいて、うれしかった」

ピースアピール

- ★子どもたちに美しい地球を！
- ☆平和の種をまきましょう！
- ★みんなが笑顔で暮らせる毎日を！
- ☆ひろがれ平和の輪

市役所前 まとめ集会



鳥取の生協のみなさん。
横断幕を持つ中央が鳥取県生協連・西尾勝実専務理事



まとめ集会であいさつする
小林智子会長理事

●6/26(木)
精華町役場→木津川市役所→
奈良般若寺
やましろ健康
医療生協と京都
生協組合員有志
が参加しまし
た。京都生協相
楽行政区の組合
員はお茶や飴の
接待に協力しま
した。



木津川市役所での出発集会。京都生
協相楽行政区のみなさん



京都生協城陽・久御山・井手行政区
のみなさん



アイスクリームの準備をする京
都生協京田辺行政区のみなさん

平和行進するやま
しろ健康医療生協
のみなさん



宇治市役所前
であいさつする京
都生協の福田康
子さん

進者の労をねぎらいました。京
田辺行政区委員会&平和クラブ
では、手作りアイスやキュウ
リ・トマトなど新鮮な地元野菜
を行進者に提供しました。今年
は久御山コースもおこなわれま
した。

「きょうと食育ネットワーク」 2008年度通常総会開催

6月6日（金）、京都府公館レセプションホールで、「きょうと食育ネットワーク」通常総会が開催され、2008年度事業計画をはじめ全議案を承認しました。

84団体が登録

同ネットワークでは、食育にかんする普及・啓発、情報の収集・提供、食育支援活動の登録・提供などの取り組みをおこなっており、保健衛生、農水産、教育・大学、商工、消費者団体など幅広い分野から84団体が会員登録しています。



「きょうと食育ネットワーク」通常総会が開催されました

2008年度は、「食育リレー講座」の開催、会員交流会の開催などが、新規事業としてすすめられます。

今里滋・同志社大学大学院教授が代表として選出されているほか、大谷貴美子・京都府立大学教授、玉川和子・京都栄養士会会長、十川洋美・京都府農業協同組合中央会専務理事、森川滋夫・京都府学校給食研究会会長の各氏が副代表をつとめ、坂本茂・京都府生協連事務局長はじめ14人が幹事に選出されています。

村田吉弘・ 菊之井主人が講演

総会終了後、「日本料理の節度と品位」と題して、京料理「菊之井」主人・村田吉弘氏より、講演がありました。

日本料理とフランス料理などとのちがいが、日本料理のいろいろな「決めごと」の理由、盛り付けの基本などについて、消費者にもわかりやすい説明をいただきました。当日は、ネットワーク会員から約70人が出席しました。

日本生協連・冷凍 ギョーザ問題検証 委員会が最終報告

日本生協連開発商品「CO・OP手作り餃子」による中毒問題の発生をうけて、学識者・リスク分析の専門家・メディア論説委員・食品安全行政担当者らによる「第三者検証委員会」が設置され、5月30日（金）、最終報告書がまとめられました。

報告書は、今回の事案の検証から得られた評価や課題をもとに、日本生協連の食品の安全性確保にかんする課題をまとめ、CO・OP商品の食品安全管理と品質保証のあり方、日本生協連の食品安全管理強化、日本生協連と会員生協の連携強化、必要な社会システムなどについて、提言をおこなっています。

報告書は、「組合員をはじめとする社会の人々の生協に寄せる信頼や期待に対して、日本生協連と会員生協が一体となって応えていくことを願い、提言をまとめた」としています。

これに先立ち、同委員会は4月10日（木）、「中間報告」をまとめています。「中間報告」「最終報告」とも、日本生協連ホームページでご覧いただけます。

「食品の安全を原点に据え、事業と組織の 出直しのな再編に全力で取り組みます」

——山下俊史・日本生協連会長が
所信。役員の見分も発表。

「第三者検証委員会」による最終報告書のとりまとめをうけて、山下俊史・日本生協連会長は、「CO・OP手作り餃子の高濃度の農薬汚染による重大な中毒問題は、生協の安全への信頼を、大きく揺るがせてしまい」、「全国の消費者・生協の組合員・役員ははじめ関係する皆さまに、あらためて深くお詫びを申し上げます」とのべ、こんご「食品の安全を原点に据え、事業と組織の出直しのな再編に全力で取り組み」む決意をあきらかにしました。

山下会長は「今回は、確かに異例の事態であったかもしれない。しかし、『通常の事態であったとして、私どもの定型的な実務対応の判断は不十分だった』と考えます」として、

日本生協連の事業構造と組織体質に「リスク管理上の弱点がひそんでいた」という判断に至ったのべています。

こんご「品質保証体系の再構築」を柱に、原料調達・生産製造工程・物流管理・販売管理・苦情対応と事故対応にいたるまで、日本生協連が全過程の管理責任を負えるようにしていかなければならない、と所信をのべました。

今回の問題にかんしては、会長・専務以下、役員の見分も発表されました。



「第三者検証委員会」報告書の表紙

特定非営利活動法人「消費者支援機構 関西(KC's)」通常総会

6月28日(土)、大阪科学技術センターで、「消費者支援機構関西(KC's)」通常総会が開催され、2008年度事業計画をはじめ全議案を承認しました。

4月、はじめての訴訟提起

消費者支援機構関西(KC's)は、2007年8月、内閣総理大臣より適格消費者団体の認定をうけ、消費者被害の収集・調査・分析をおこないながら、未然・拡大防止のために事業者及び事業者団体の不当な事業活動



6月28日、消費者支援機構関西(KC's)の通常総会が開催され、記念シンポジウムがおこなわれました

にたいする是正を図る活動をすすめています。4月には、貸金業者の早期完済違約金等の違法な契約条項にかんして、はじめの訴訟を提起しました。

2008年3月末現在で、14団体正会員(京都府生協連など)、101個人正会員、49団体賛助会員(京都生協、大学生協京都事業連合など)、28個人賛助会員が登録しています。

記念シンポジウム

総会終了後、「消費者庁」構

京都消費者契約ネットワークが消費者団体訴訟第1号を提起

3月25日(火)、消費者団体訴訟制度にもとづく差止訴訟が制度発足以来はじめて提起されました。提起したのは、特定非営利活動法人・京都消費者契約ネットワーク。2007年12月に適格団体として内閣総理大臣から認定をうけました。

京都のマンション・アパート賃貸借契約にかんして問題となっている定額補修分担金について、京都地方裁判所にたいし、株式会社長栄を被告として提起されたものです。

想とKC'sの「できること」と題した記念シンポジウムがおこなわれ、五條操検討委員、日弁連消費者行政一元化推進本部副本部長でもある片山登志子副理事長から報告がありました。

パネルディスカッションは、夷石多賀子・日本女子大学非常勤講師、加納克利・内閣府国民生活局消費者団体訴訟室室長、黒木理恵・KC's検討委員会委員長をパネリストに迎え、飯田秀男常任理事のコーディネイトのもとにすすめられました。

参加者はのべ112人で、但馬幸伸・京都府消費生活安全センター長、坂本茂・京都府生協連事務局長が参加しました。

京都消費者契約ネットワークでは、2007年7月に定額補修分担金条項の使用中止を申し入れていましたが、長栄からは回答などの反応がまったくなかったことから、提起にふみきりました。

消費者団体訴訟制度は、2007年6月からスタートし、一人ひとりの消費者に代わって、適格団体が、消費者契約法に違反する事業者の行為の差し止めをもとめる訴訟を起す権利を認めるものです。

「消費者庁」設置の動き ハイピッチで

消費者行政を一元化する新組織「消費者庁」(仮称)設置にむけた動きが急速にすすんでいます。6月27日(金)、政府は「消費者行政推進基本計画」を閣議決定し、消費者・生活者の視点に立つ行政への転換をおこなうとして、「消費者を主役とする政府のかじ取り役となる消費者庁」(仮称)を2009年度に設置すると発表しました。

新組織は、消費者の視点から政策全般を監視するため、強力な総合調整権限、勧告権をもつと説明されています。また、苦情相談受付から法執行にいたるまでの行政の対応を規定した新法の成立にむけて取り組むとしています。

この動きをうけて、7月16日(水)、せいきょう会館でコンシユーマーズ京都のよびかけによる緊急学習会が開催され、27人



飯田秀男・全大阪消団連事務局長

が参加しました。飯田秀男・全大阪消費者団体連絡会事務局長が報告しました。

食料・資源問題を学習

第21回役員研修会

7月23日(水)、会員生協役員を対象に研修会を開催し、40人が参加しました。

増田佳昭・滋賀県立大学環境科学部教授が「深刻化する食料・資源問題にどう対応するか」と題して講演。鉄鉱・食料・飼料・原油などの素材価格に加え、末端の消費財・製品価格が顕著な上昇傾向に転じたなか、組合員のくらしと事業経営にどう対応をつよめていくのかについて、ご提案をいただきました。

開会にあたっては、但馬幸伸・京都府消費生活安全センター長があいさつされました。



但馬幸伸・京都府消費生活安全センター長



増田佳昭・滋賀県立大学環境科学部教授

おもな行事のお知らせ

2008年度 京都府総合防災訓練

主 催：京都府
日 時：9月15日(月祝) 9:00~11:30 (※前日は予定)
会 場：メイン会場：京田辺市内宅地造成地(京田辺市山手西3丁目)
※京都府生協連はJAGグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合「第8回 職員交流・体験学校」

主 催：京都府協同組合連絡協議会 (JA・JF・森連・生協連)
日 時：9月11日(木) 12:00~12日(金)13:00
会 場：京都市右京区京北
内 容：間伐材を利用する取り組みについて

第39回 京都消費者大会

主 催：コンシューマーズ京都
日 時：9月20日(土) 13:30~16:00
会 場：コープイン京都

食育リレー講座

実施団体：京都生協・京都府生協連・くらしと協同の研究所食育活動研究会・きょうと食育ネットワーク
日 時：9月27日(土) 10:15~12:00
会 場：せいきょう会館 4階第1会議室
テーマ：「小学生のための食育～生協たべる*たいせつキッズクラブの活動紹介～」

2008 京都 たべるたいせつフォーラム (第15回京都府生協大会)

主 催：京都府生協連
日 時：10月15日(水) 10:00~11:50
会 場：ハートピア京都

2008 平和・憲法学習会

主 催：京都医療生協・乙訓医療生協・やましろ健康医療生協・京都府生協連
日 時：10月25日(土) 14:00~16:00
会 場：京都府農協会館 (JR京都駅八条口より徒歩5分)
講 師：薄井雅子さん(在米の日本人ジャーナリスト)
テーマ：「『戦争熱症候群一傷つくアメリカ社会』～9.11でアメリカ社会はどう変わったか～」(仮題)

たべるたいせつフェスティバル2008

主 催：日本生活協同組合連合会
日 時：11月1日(土)~11月2日(日)
会 場：大阪城ホール

京都環境フェスティバル2008

主 催：京都府
日 時：12月13日(土)~14日(日)
会 場：パルスプラザ

探訪 京都市洛西竹林公園

竹の資料館、回遊式和風庭園、子どもの広場をもつユニークな公園

竹 林公園は京都市の西南部、タケノコで有名な洛西の地に1981年6月に開設されました。洛西ニュータウンの開発がすすむなかで、竹・タケノコ産地であったこの地に、その歴史をとどめ、残った竹林を積極的に生かしたいと、世界的にも有名な竹博士・故上田弘一郎・京大名誉教授のご尽力もあってできあがりしました。

上 田先生の研究を京大職員としてお手伝いされ、定年後は竹の研究一筋の農学博士・渡邊政俊先生に、竹林公園の魅力や珍しい竹のお話などをうかがいました。「竹林公園の特徴は3つあります。ひとつは竹の資料館。京都市の博物館の一つに指定されていて、スタンプラリー用のスタンプもあります。2つ目は、回遊式和風庭園になっていることです。3つ目は子どもの広場。ここはいつでも開放しています」と渡邊先生。

資 料館でとくに目を引くのは、アメリカの発明家・エジソンが電球のフィラメントに八幡の竹を使ったというエジソン電球(復元品)。ほかには竹製品やパネル、京都府指定の「伝統工芸品」の京銘竹なども展示されています。取材で訪れ

たときには、インド産の開花周期48年の竹が実をつけているのを見ることができました。常設展示にはこの竹の実をアルコール漬けにしたものがあります。

回 遊式庭園は、0.5ヘクタールの広さがあります。110種類の竹が生育する生態園と京都の歴史を伝える百々橋(どどばし。この橋で応仁の乱が始まったと伝えられる)と石仏が移築・配置されています。亀の甲羅のような節をもつキッコウチク(亀甲竹)、稗(かん)が黄金に輝くオウゴンチク(黄金竹)、稗が黄金で緑のストライプが入ったキンメイチク(金明竹)、逆に稗が緑で黄金のストライプが入ったギンメイチク(銀明竹)、クロチク(黒竹)などなど。ここではすべての竹に名前がつけられています。

公 園内では、森林浴ならぬ竹林浴に、身も心もリラックスできます。竹関係者の間では世界的にも有名で、外国からのお客さんもたくさん見学に来られるとうかがいました。手入れが行き届き、落ち着いた、とても美しい公園です。入場料無料。



(左上) 亀の甲羅のような節をもつキッコウチク(亀甲竹)
(中) 稗が黄金で緑のストライプが入ったキンメイチク(金明竹)
(右上) 黒い色をしたクロチク(黒竹)



渡邊政俊先生



庭園から、百々橋を手前に、竹の資料館を望む



石仏群



エジソンの電球(復元品)

京都市洛西竹林公園

- 場所 京都市西京区大枝北福西町2丁目300-3 (市バス阪急桂駅より西3系統「西福西町」下車徒歩5分) TEL.&FAX.075-331-3821
- URL <http://www17.ocn.ne.jp/~park/>
- 開園時間/午前9時~午後5時(入園は午後4時まで)
- 休園日/毎水曜日と12月29日~1月3日

バスや徒歩の場合、南入口(正門)から、車利用の場合、北入口(比門)から